

保護者各位

樋川小学校
校長 岩網 清美

保護者・児童アンケート及び内部評価の結果報告

保護者アンケートへのご協力ありがとうございました。以下の通り、結果をご報告いたします。

前期保護者アンケート

回収率97.6%

	質問内容	人数				A + B 肯定的 回答 (%)	R 5 前期 との差	A 3点 B 2点 C 1点 D 0点 による 平均値	R 5 前期 との差
		A	B	C	D				
1	子どもは、楽しく学校生活を送っている。	54	25	4	0	95.2	-1.2	86.7	-0.3
2	子どもは、家庭学習（宿題を含む）の習慣が身についている。	30	44	8	1	89.2	-0.4	74.7	3.1
3	子どもは、学校や友達のことをよく話す。	50	24	9	0	89.2	0.7	83.1	○ 4.9
4	家庭では、望ましい生活リズム（早寝・早起き・朝ごはん）の定着に努めている。	40	29	10	4	83.1	3.8	75.5	○ 4.2
5	家庭では、テレビ・ゲーム、インターネット、メール、LINE、フェイスブック等を使うとき、ルールや時間を決めている。	25	39	18	1	77.1	○ 15.1	68.7	○ 6.2
6	教師は、児童が理解できるようなわかりやすい授業に努めている。	51	31	1	0	98.8	1.1	86.7	○ 3.6
7	教職員は、子どもや保護者の思いを大切にしながら関わっている。	47	34	2	0	97.6	2.2	84.7	1.2
8	教職員は児童の見本となる言動をとっている。	45	37	1	0	98.8	2.2	84.3	2.3
9	学校は、教育方針や教育活動の内容をわかりやすく、学校・学年だより・保健だより等で伝えている。	44	37	2	0	97.6	6.8	83.5	○ 7.3
10	学校は、子どもたちの健康（健康の保持増進・衛生に関する指導や対策）・安全（設備の整備・環境美化）に注意をはらっている。	42	38	3	0	96.4	-0.2	82.3	-0.1

【アンケート結果より】

＜成果＞ 昨年度の課題となっていた項目5「家庭では、テレビ・ゲーム・・・等を使うとき、ルールや時間を決めている」と項目9「学校は、教育方針や教育活動の内容を分かりやすく、学校だより・学年だより・保健だより等で伝えている」の肯定的回答がそれぞれ15.1ポイントと6.8ポイント上昇しました。項目5については、春休み前に各家庭でメディアルールを決めていただきましたが、その後もご家庭で継続して取り組んでいただけた結果かと思えます。ご協力ありがとうございます。また、項目9については、お便りをマチコミメールで配信するようにしたことやホームページの「保護者専用ページ」に各学年の写真を月に10枚程度掲載してきた成果かと思えます。

さらに、昨年後期のアンケートで項目4「望ましい生活リズムの定着に努めている」と項目6「児童が理解できるようなわかりやすい授業に努めている」が昨年前期に比べ、それぞれ8.7ポイントと-5.9ポイントでしたが、今回のアンケートで昨年後期より13.5ポイントと7.0ポイント上昇していました。保健指導の継続と児童のつまずきを想定した授業づくりをしてきたことの結果と受け止めます。今後も継続していきたいと思えます。

＜課題＞ 今回大きな課題は見られませんでした。項目10に関連して、今後も様々な自然災害に備えて、あらゆる想定で訓練を見直したり、訓練の回数を増やしたりと具体的な対策を練っていきます。そして、緊急時においても、自分で考え、冷静に行動できる力を身につけていきたいと考えています。

【ご意見より】

個人名、学年が特定されるものは、個別に対応させていただきます。なお、不明な点があれば、学校までお問合せください。

学校からのお知らせについて

学校からのお知らせについて、上の子がいる家庭なら経験上分かることが、長子が一人の家庭には分かりづらい。毎年のこと、流れ等がわからないので、くわしく早めに教えていただきたい。

学校からのお知らせは、行事の1ヶ月前に出すように努めています。しかし、諸事情により遅くなることもあり、ご不便をおかけし申し訳ございません。もし年間の主要行事を知っておきたいということであれば、4月のPTA総会資料に掲載していますので、そちらでの確認もお願いします。また、学校からのお知らせは、紙面の関係上必要な内容だけを載せています。分かりにくい表現や説明不足であると思われる場合は、遠慮なく学校へお問い合わせください。

下校時刻について

行事予定表に記載されている下校時刻より遅くに下校する(児童玄関を出てくる)ことがあります。下校時刻に合わせて習い事や歯科の予約を入れて迎えに行っているため、遅くならないようにしてほしいです。

下校時刻は目安の時刻となります。担任が残して補充学習をすることもありますので、ご承知おき下さい。30分間以上時間がかかる場合は、ご家庭に連絡しています。また、学級全体で残る時には担任から事前の連絡があります。学校でも、この点については再度職員と確認をします。予定が入っているのであれば、連絡帳などでご連絡いただくか、高学年であればお子さんから担任に連絡するように伝えるなどしていただければ助かります。

欠席後の補充学習について

病欠した際の授業内容が分からず、ついていけずに困っていたので少しでも教えていただけるとありがたいです。

欠席時に進んでしまった学習内容について、補充学習をするのは学校の務めです。授業でフォローしきれない時は、休み時間や放課後の時間を使ってフォローしています。帰る時刻が遅くなる時にはご連絡しますので、ご協力お願いいたします。

	質問内容	人数				A + B 肯定的 回答 (%)	R 5 前期 との差	A 3点 B 2点 C 1点 D 0点 による 平均値	R 5 前期 との差
		A	B	C	D				
1	あなたは、学校に来るのが楽しいですか。	56	20	8	0	90.5	-1.5	85.7	1.6
2	あなたは、宿題をわすれずにできていますか。	61	20	3	0	96.4	3.2	89.7	-0.5
3	あなたは、家の人と、学校や友達のことを話しますか。	57	21	6	0	92.9	-0.2	86.9	-0.2
4	あなたは、早寝・早起き・朝ごはんを守って生活していますか。	43	23	9	3	85.7	-0.6	73.0	△ -6.2
5	あなたは、家でテレビ・ゲーム・インターネットなどをつかうとき、ルールや時間を守っていますか。	47	23	11	3	83.3	1.5	78.6	○ 4.0
6	あなたにとって、授業は楽しくわかりやすいですか。	61	18	3	2	94	0.8	88.1	0.6
7	あなたは、授業中、先生や友達に自分の意見を伝えていますか。	57	21	5	1	92.9	-2.6	86.5	△ -3.7
8	あなたは、授業中、わからないことがあるとき、 わかるまで、諦めずに頑張ることができ ますか。	56	19	9	0	89.3		85.3	
9	先生は、自分が学習で努力したことをみとめてくれますか。	62	17	4	1	94	-2.6	88.9	0.3
10	あなたは、健康や安全に気をつけて行動していますか。	65	17	2	0	97.6	4.4	91.7	○ 5.7

【アンケート結果より】

<成果> 保護者アンケートと同じく、項目5に成果が見られました。肯定的回答の割合はほとんど変わりませんが、平均値で4.0ポイント上昇（少なくとも評価を1つ上げた児童が10人）しました。今後もルールを守るように指導していくと共に、自分の現状に対して目標がふさわしいかという点を振り返って、再度目標を設定し直してもらおう予定です。

項目10に関しては、能登半島地震以降、学校でもさらに気を付けるようになりました。揺れが感じられる時には、校内放送を待たずに素早く避難行動をとることができています。

<課題> 項目4は、保護者アンケートとほぼ同じ割合でしたが、昨年前期と比べると平均値で評価を下げたお子さんが15人ほどいます。また、「ふりかえりウィーク」の結果を見ると、どの学年も寝る時間が7割しか守れていません。保護者対象の学校保健委員会で涵養に努めます。また、項目7「自分の意見を伝えていますか」が前回よりポイントを下げています。友達の意見を関連付けて新たな考えを創り出す喜びを是非感じてほしいものです。そうした授業となるよう、私たち指導者も努めていきます。

内部評価項目（令和6年度）

- 基本目標 1 確かな学力をはぐみ、自ら課題を見つけ主体的によりよく解決できる力の育成をめざします
 基本目標 2 豊かな心をはぐみ、健やかな身体と体力の増進に努めるたくましい人づくりをめざします
 基本目標 3 安心・安全で、魅力ある教育環境づくりをめざします
 基本目標 4 学校・家庭・地域が連携・協力し、社会全体で教育力の向上をめざします

【評価基準】 A:十分なされている B:概ねなされている C:あまりなされていない D:なされていない

基本目標	項目	評価内容	A	B	C	D	A3点B2点C1点D0点による平均値	R5前期との差	所見(○成果、▲課題)	
3	(1)組織的な学校運営	1 校内研修会やOJTが計画的に実施されているか。	6	4	0	0	86.7%	6.7		
		2 自分の校務分掌について、計画・実施・反省を行い次回につなげたか。	4	6	0	0	80.0%	0		
		3 学校は安心・安全な学校づくりに努めていると思えますか。	4	6	0	0	80.0%	-10	▲朝、7:30より早く児童玄関を開けるのは、職員が少ない時間帯の危機管理上、危険だと思います。	
		4 保育所・小学校・中学校・高校等の連携がうまく図られているか。	0	9	1	0	63.3%	-10	▲今後あるのかもしれませんが、1学期は連絡の様子が分かりませんでした。	
1・2	(2)学習指導の充実	5 ロードマップに沿った学力向上対策が実施できたか。	4	6	0	0	80.0%	-6.7		
		6 学校研究の共通取組を意識して授業実践できたか。	5	5	0	0	83.3%	-10		
		7 朝自習や朝読書等の充実が図られたか。	5	5	0	0	83.3%	-3.4		
		8 学習規律や学習習慣についての指導ができたか。	6	4	0	0	86.7%	-3.3		
		9 家庭学習・家庭読書についての指導ができたか。	3	6	1	0	73.3%	-6.7	▲家庭読書は不十分である。本を持ち帰る日や家庭読書をした感想をプリントまたは、読書ノートに記入しても良いのかも。	
		10 外国語活動の充実を図られたか。	4	6	0	0	80.0%	-6.7		
		11 道徳の授業の充実を図られたか。	2	8	0	0	73.3%	-3.4		
		12 体力向上に向けた取組(スポチャレや業間の取組を含む)ができたか。	1	9	0	0	70.0%	-6.7		
		13 児童一人一人に学びの楽しさと充実感を味わわせる授業が実践できたか。	5	5	0	0	83.3%	3.3		
		NEW	14 読書活動を推進し、読書量増加につなげることができたか。	1	7	2	0	63.3%		▲クラスでは、声はかけられているが、全校で読書量が増えているように感じない。分らない。 ▲取組が例年特に変わりがない(読書ノート)ので、児童によって差が生じている。委員会などの提案から新しい取組を考えていきたい。
		15 一人一台タブレット端末を活用した授業(指導)ができたか。	4	6	0	0	80.0%	-6.7	▲1年生のPCIは、すぐ充電が切れるので、使い勝手がよくありません。	
1・2	(3)生徒指導の充実	16 生活目標に対して、具体的取組ができたか。	4	6	0	0	80.0%	-3.3		
		17 特別支援教育で、児童生徒のニーズに応じた支援が図られたか。	6	4	0	0	86.7%	16.7		
		18 挨拶、ことば遣いについて指導できたか。	3	6	1	0	73.3%	▲16.7	▲「おはよう」の声が減った気がします。昨年度、中村先生が率先されていた姿を受け継がねばと反省します。	
		19 清掃指導ができたか。	3	7	0	0	76.7%	-10		
		20 食育を行い給食指導ができたか。	4	5	1	0	76.7%	-6.6	▲指導があるとその時はしているが、しばらくすると残食が増えたりする。マナーの指導を2学期にもっと強化し、全クラスで取り組ませる。	
		NEW	21 「いじめ」について、予防・把握・指導ができたか。	4	6	0	0	80.0%		
		NEW	22 「不登校」について、予防・把握・指導ができたか。	4	6	0	0	80.0%		
		23 子ども一人一人に居場所がある学級経営に努めているか。	6	4	0	0	86.7%	6.7		
24 児童理解について、共通理解が図られているか。	7	3	0	0	90.0%	0				
4	(4)家庭地域との協働	25 家庭・地域への情報発信(新聞、学級だより、保健・給食だより、ホームページの更新)が行われているか。	3	6	1	0	73.3%	▲13.4	▲ホームページは学年によってばらつきがあった。担当からの声かけや学担の自覚が必要である。	
		26 教職員は、地域の行事等に積極的に参加し、地域からの意見を取り入れよう(受悟)しているか。	2	8	0	0	73.3%	3.3		
		27 児童・生徒の学校行事、地域等への参加を家庭・地域に呼びかけているか。また、児童生徒は参加しているか。	3	7	0	0	76.7%	16.7		
3	(5)その他(職員の服務態度)	28 教職員は、互いに協力しながら児童の指導をしているか。	7	3	0	0	90.0%	0		
		29 教職員は、服装、髪、言動等児童生徒の模範となっているか。	7	3	0	0	90.0%	13.3		
		30 教職員は、危機管理に対する意識を持ち、有事に直ちに対応しているか。	6	4	0	0	86.7%	6.7		
		31 教職員は、働き方を意識し、校務の効率化に取り組んでいるか。	1	8	1	0	66.7%	-10	▲閉校に向けての業務が今後増えることを考え、日常の業務をもっと減らす必要があると思います。放課後の時間確保のため、会議を減らす、例えば、GIGA研修会を月1回にする、運営委員会をなくすなど。	
		32 「石川の教員育成指標」による自己ステージを意識して目標をもって取り組んだか。	3	6	1	0	73.3%	-6.7	意識の差があるので、育成指標を見ながら自分を振り返る時間をとればどうかと。	
		33 誇りややりがいをもって仕事ができている	5	5	0	0	83.3%	3.3		

【アンケート結果より】

<成果> どの項目も肯定的な回答は 90～100 ポイントと高い数値を示しています。特に、半数以上の 6 名が A と評価した項目は 8 項目あり、そのうち一番多いのが「生徒指導の充実」と「教員の服務態度」の 3 項目、次いで「組織的な学校運営」と「学習指導の充実」が 1 項目でした。児童に応じた支援や学級経営に勤しみ、教師として望ましい振る舞いを意識してきたと言えます。

さらに、平均値を昨年前期と比べる（約 3.3 ポイントが一人の割合に相当する）と、項目 2 7 「児童・生徒の学校行事、地域等への参加を家庭・地域に呼びかけているか、また、児童生徒は参加しているか。」では、16.7 ポイント上昇（評価を 1 つ上げた職員が全体の半数）しました。これは、運動会後の P T A 種目に、多くの子どもたちが参加していたことや、総合の学習で地域の様子を児童に聞く機会が増えたりして、地域の様子がわかるようになったためと判断します。

<課題> 肯定的回答が高い中で、唯一 80 ポイントだったのは、項目 1 4 「読書活動を推進し、読書量増加につなげることができたか」でした。所見を見ると、声かけはしているが読書量が増えていない、その原因は取組のマンネリ化にあると考えられます。また、昨年前期の平均値と比較すると、全体のほぼ半数が評価を 1 つ下げたとみられる項目が 2 つありました。項目 1 8 「挨拶、ことば遣いについて指導できたか」と項目 2 5 「家庭・地域への情報発信（新聞、学校だより、保健・給食だより、ホームページの更新）が行われているか」です。所見にあるように、挨拶の声が減っていることや H P の更新にばらつきがあることが課題として挙げられます。これらの課題に対しては、以下のように対応していきます。

- ①読書量増加は、図書担当を中心に図書委員会で児童と共に案を考えて実行する。
- ②挨拶・ことば遣いは、職員が率先垂範に努める。
- ③家庭・地域への情報発信は、H P 担当から声かけと行動確認をする。